第２講 【古代編】西アジアと地中海世界の特質
PART6 古代ローマ世界３

Chapter1　キリスト教の成立とローマ

目標
キリスト教はどのように成立していったのだろうか。
キリスト教はローマ帝国とどのような関わりがあったのだろうか。

1　キリスト教の成立

１世紀初め頃ローマの支配下にあったパレスチナで，権威主義と戒律主義に陥っていた〔　　　　　　　　〕を批判し，**神の愛**と**隣人愛**を説き，神の国の到来を約束した〔　　　　　　〕。

①救世主の誕生
人々はイエスを**救世主**（メシア，ギリシア語で**キリスト**）と信じるようになる

②処刑
ユダヤ教の祭司や律法の厳守を重んじる**パリサイ派**が，イエスをローマに対する反逆者であるとローマの総督**ピラト**に告発
→30年頃，イエスは処刑された

③イエスの復活
A　弟子たちによってイエスの復活という信仰が生まれ，イエスを救世主とする〔　　　　　　　　〕が成立
→**ペテロ**や**パウロ**などの使徒による布教がはじまった
※ペテロはのちに「初代ローマ教皇」とされ，パウロは異邦伝道を行った。

B　１世紀末頃から，教典となる〔　　　　　　　　　　　〕の原型も整えられ，ローマ帝国内の各地に〔　　　　〕がつくられ，次第にキリスト教徒の数も増えていった

『最後の晩餐』

2　キリスト教とローマ帝国

ローマ帝国は諸宗教に寛容だったので，初期のキリスト教の伝道やキリスト教徒に対する迫害は**ネロ帝**（在：54 年～68 年）の迫害などを除いて少なく，下層市民や女性を中心に帝国全土に広まっていった。

→３世紀から政治の混乱，皇帝崇拝が強化される時代になり，唯一絶対神を信じるキリスト教徒に対する圧力が強まった

303 年　「３世紀の危機」を収拾した**ディオクレティアヌス帝**による大迫害
　→しかし，キリスト教は全土に拡大を続けた

313 年　**コンスタンティヌス帝**が〔　　　　　　　　　　〕でキリスト教を公認
　→キリスト教は帝国との結びつきを深め，急速に勢力を強めた

325 年　コンスタンティヌス帝が〔　　　　　　　　　　　　　　〕を招集し，
　アタナシウス派が正統教義，**アリウス派**が異端とされた
　※アタナシウス派はイエスと神を同一とし，アリウス派はイエスの人性を強調した。

392 年　**テオドシウス帝**によりアタナシウス派**キリスト教**が〔　　　　〕化された
　→司教・司祭などの聖職者身分が成立，教会の組織化が進んだ
　※その後も**アウグスティヌス**ら〔　　　　〕たちにより教義論争が続いた。

431 年　**エフェソス公会議**で，キリストの神性と人性を分離するものとして**ネストリウス派**が異端とされた
　※ネストリウス派はイエスの人性と神性の分離を強調。のちに，ネストリウス派はササン朝ペルシアを経て中国に伝わり，景教と呼ばれた。

451 年　**カルケドン公会議**で，アタナシウス派が唱えたキリストと神の同一に聖霊を加えた〔　　　　　　　　　　〕が正統教義として確立

まとめ

イエスが処刑された後，弟子たちがイエスの復活を信じ，キリスト教の教えとした。
キリスト教は歴代皇帝による迫害を受けたが，拡大を続けたことによりミラノ勅令で公認され，テオドシウス帝の時代には国教とされた。

Chapter2　古代ローマの社会と文化

目標　古代ローマの文化で現代にも通ずるものは何だろうか。
ギリシア文化を土台としたローマ文化が，独自に発展させたものを理解しよう。

1　古代ローマの文化

ギリシア文化やヘレニズム文化に強く影響を受けたローマ文化が，帝政時代に地中海全域に広まった。

①文字　ギリシア文字からつくられた［　　　　　　　　　　］が各地で使用された
→今日でもヨーロッパの大多数の言語に用いられている

②言語　ローマ人が話した**ラテン語**が公用語として帝国内で使用された
→近代まで教会や学術で共通の文語として使われていた
→現在のフランス，イタリア，スペインなど，全てのロマンス諸語の母体となった。
文芸でもラテン語による文学作品が発達した

③暦　前1世紀に**ユリウス暦**がカエサルによって制定された
→ 1582年に現在のグレゴリウス暦（西暦）に改訂されるまで使用された

④文学　**ウェルギリウス**（前70年～前19年）『**アエネイス**』

⑤歴史・地理

A　［　　　　　　　　］（前100年～前44年）『**ガリア戦記**』

B　［　　　　　　　　　　］（前59年～後17年）『**ローマ建国史**』

C　［　　　　　　　　　　］（55年頃～120年頃）『**ゲルマニア**』

D　［　　　　　　　　　　　　］（46年頃～120年頃）『**対比列伝**』

⑥哲学・思想

A　［　　　　　　］（前106年～前43年）雄弁家，ラテン語の散文

B　セネカ（前4年頃～後65年）ストア派の学者，ネロ帝の師

⑦自然科学

A　**プリニウス**（23年頃～79年）『博物誌』

B　［　　　　　　　　　　　　　　］（2世紀）天動説を主張

2 古代ローマの社会

ローマ人がすぐれた実用性を発揮して帝国支配に応用した能力は，土木・建築技術や法律に象徴される。

①土木・建築

A 街道網で結ばれた帝国各地には，**アーチ構造**を用いた石積み建築によるローマ風の都市が建設

B 都市は上層市民による自治で運営され，公衆浴場や上水道，競技場，劇場をはじめ公共施設が整備

C ローマ市内の**コロッセウム**（円形競技場）では，「**パンと見世物**」を楽しみに生きる下層市民のために戦車競走や剣闘士競技などが開催

※政治家や皇帝，富裕者が民衆に対して保護者としての権威を示し，その統治を正当化する古代ローマ社会の一面でもあった。

コロッセウム

ガール水道橋

②法律

共和政期に制定された十二表法以来発展させてきた〔　　　　　　　　〕は，
本来，ローマ市民を対象とする市民法だったが，ローマの支配圏拡大に伴い，
帝国に住む全ての人々に適用される〔　　　　　　〕に成長
→６世紀に東ローマ帝国のユスティニアヌス帝が，法学者トリボニアヌスらに編さんさせた〔　　　　　　　　　　　　〕は，のちにヨーロッパ社会の法体系の規範となった

まとめ

特にラテン文字などは現代でも使用されており，また公用語のラテン語が全てのロマンス諸語の母体となった。
各地に実用的なローマ風の建築物を遺したほか，法体系がのちのヨーロッパの法規範となった。

第 2 講　PART6　確認問題

1　２～４世紀には現在の形に成立したとされる，キリスト教の教典は何か。

①　旧約聖書　　②　リグ＝ヴェーダ
③　アヴェスター　　④　新約聖書

2　３世紀の政治的混乱を収拾した皇帝で，皇帝崇拝を拒むキリスト教徒に大規模な迫害を命じたのはだれか。

①　ディオクレティアヌス帝　　②　ウァレリアヌス帝
③　カラカラ帝　　④　ハドリアヌス帝

3　313 年にコンスタンティヌス帝によって出されたキリスト教を公認した命令は何か。

①　ナントの王令　　②　ミラノ勅令
③　聖像禁止令　　④　アントニヌス勅令

4　325 年にコンスタンティヌス帝が招集した教義統一のための会議は何か。

①　エフェソス公会議　　②　カルケドン公会議
③　ニケーア公会議　　④　クレルモン公会議

5　もともとは古代ローマ人が使い，ローマ帝国の拡大に伴って地中海全域に広がった言語は何か。

①　ラテン語　　②　コイネー
③　イタリア語　　④　フェニキア語

6 ギリシア・ローマの英雄的人物を比較評論した『対比列伝』の著者として知られる歴史家はだれか。

① ホメロス　② ヘロドトス
③ タキトゥス　④ プルタルコス

7 80 年に完成し，現在もローマに残る市民に娯楽を提供するための建築物は何か。

① パンテオン　② コロッセウム
③ 凱旋門　④ カタコンベ

8 ６世紀に編さんされた，ある法律の集大成といわれる法典は何か。

① 教会法大全　② 万民法
③ ローマ法大全　④ ナポレオン法典

第 2 講　PART 6　確認問題 解答

1 解答：④　キリスト教の教典『**新約聖書**』は，ギリシア語のコイネーで記されて 2 ～ 4 世紀に現在の形に成立した。

2 解答：①　専制君主政を開始した**ディオクレティアヌス帝**は，皇帝崇拝を拒むキリスト教徒に大規模な迫害を命じた。

3 解答：②　コンスタンティヌス帝は，**ミラノ勅令**によってキリスト教を公認した。

4 解答：③　**ニケーア公会議**によって，アタナシウス派が正統教義でアリウス派が異端とされた。

5 解答：①　**ラテン語**は現在のフランス語，イタリア語，スペイン語などの母体となった。

6 解答：④　『対比列伝』の著者は**プルタルコス**。著書はギリシア・ローマ史の重要な史料となっている。

7 解答：②　**コロッセウム**は，市民のために剣闘士競技などが開かれた円形競技場である。

8 解答：③　『**ローマ法大全**』は，東ローマ帝国のユスティニアヌス帝が編さんさせた古代ローマ法の集大成。